

建築研究資料 No.188 「太陽光発電設備の年間発電量の推計方法に関する調査」の公表
について

住宅・建築物の設備・機器の性能は、日本工業規格（JIS）や業界規格等で定められている試験等の則った指標で表されるのが一般的ですが、これらの性能は多くの場合、運転条件に大きく依存します。従って、これらの設備の実働性能を評価し、省エネ設備選定等に適切なインセンティブを与えるためには、使用時間等の居住者の使用条件を想定し、様々な運転条件に対応した設備・機器の評価方法を適切に構築することが不可欠です。

このような観点から、国土交通省建築基準整備促進事業の一課題である「エネルギー消費量推定に必要となる設備・機器の性能指標の要件と活用方法の検討（平成23年～平成24年）（事業主体：東京大学、株式会社住環境計画研究所、株式会社藤原環境科学研究所）」を通じて、住宅の設備・機器に関する使い方調査やエネルギー消費効率に関する実験を行いました。本資料は同補助事業で収集・整理された内容のうち、太陽光発電設備の発電量の評価方法についての既往研究の調査部分（事業担当：株式会社住環境計画研究所）を再整理し、最新の知見を加えて取りまとめたものです。

本資料の成果は、平成25年1月公布の、エネルギーの使用の合理化に関する法律（昭和54年法律第49号）に基づく「エネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準（平成25年経済産業省・国土交通省告示第1号）」及び現行の基準である建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律、及び同法律に基づく省令・告示、関連する技術情報の根拠となったものであり、当時の技術情報の作成過程を理解するうえでも欠かせないものです。住宅・建築物のエネルギー消費性能の評価を理解する上で、本資料が役立てられることを期待します。

ダウンロードURL

<http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/publications/data/188/index.html>

（参考）

平成25年より一次エネルギー消費量を指標とした省エネルギー基準（エネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準）が運用されており、建築研究所では一次エネルギー消費量の計算方法を整備し、それを省エネルギー基準に関するウェブサイト（<http://www.kenken.go.jp/becc/index.html>）において公開しています。

（内容の問合せ先）

独立行政法人 建築研究所
所属 環境研究グループ
氏名 三浦尚志
電話 029-864-6765（直通）
E-mail miura@kenken.go.jp

目次

第1章 調査の概要	1
第2章 総合設計係数に関する既往知見の整理	4
2.1 検討事項	4
2.2 太陽電池の種類	5
2.3 アレイ面入射量補正係数	10
2.4 太陽電池変換効率補正係数	13
2.5 蓄電池回路補正係数	27
2.6 パワーコンディショナ回路補正係数	29
2.7 その他	35
第3章 時刻別の発電量推計方法の提案のまとめ	37